

隠岐の闘牛

— 担い手の**社会関係**に着目して —



名古屋大学
地理学研究室D1
石川菜央

1. 闘牛とは？

- ルール: 先に逃げたら負け
- 日本では6か所で開催
- 起こり: 農業の娯楽
基盤: 一般家庭での牛飼育
- 特徴: 担い手が牛を飼う



2. 従来の研究 : 人と牛の関係

牛を生業対象とする人々: 牧畜民の研究
政治・経済・社会において牛が重要 × 闘牛

↑ 牛の位置付け異なる ↓

日本(農耕民): 旧来, 牛は耕作の補助 ○ 闘牛



牛との関係 + α の視点が必要



動物を闘わせる行事

- ギアツ(闘鶏) 「動物を通して人同士が闘っている」
- 曾我(闘牛), ● 小川(闘鶏)
→ 1つの地域における人と動物との関係



本研究: 担い手の人間関係に焦点

1. 空間的な広がりに着目する
2. 複数の町村をカバーし, 広範囲を対象
3. 地域内だけではなく, 外側との交流

3. 隠岐と闘牛

【島根県隠岐】 人口: 2万5千人



(鎌倉時代)
島前で発生
↓
(江戸時代)
島後へ
↓
(明治時代)
肉牛生産で
転機

3町村の闘牛

伝統 ↑

- 都万村 (八朔大会: 奉納)
- 五箇村 (一夜ヶ嶽大会: 奉納)
- 西郷町 (夏大会: 有料)



観光 →

行政, 学校での取り扱い

- 行政・・・3大イベント(民謡, 相撲, 闘牛)の1つ
観光資源, 地域活性化
経済支援+人的支援
- 学校・・・総合学習
学校行事で参加



(五箇村立 共同牛舎)

7

4. 闘牛大会の日程

【大会前後の習慣】



1ヶ月前	出場牛の決定	祝儀
2週間前	取組表配布(6000世帯)	
10日前	参詣	
1日前	前夜祭(宴会1日目)	
大会当日	直会(宴会2日目)	
翌日	直会(宴会3日目)	

8

本研究のメイン: 担い手の関係

- ① 牛を媒介とする関係
人物: 牛主(闘牛の飼育者)同士
→重要: 売買
- ② 闘牛大会を媒介とする関係
人物: 闘牛大会の成立に関わる人
ex. 牛主, 家族, 近隣居住者

9

5. 牛を媒介とした関係: 牛主の活動

54世帯で飼育(副業で畜産は3世帯)
職業: 建設業, 公務員, 漁業など

世話, 練習などで2~3時間

自分の牛の個性
(体型, 性格, 闘い方)
に対する思い入れ



父子で牛の散歩¹⁰

DEAD or ALIVE?

5年間飼育, 大会に2回出場の後

宇和島へ転売
-70万~20万

肉として売却
1t: 80万

長生き
してほしい



自分のは
食べない

自分と他人の牛の明確な区別

11

売買を通じた牛主の交流

しょうま (←所望): 金銭+牛主としての資質



買い手

あなたの牛を
私に下さい!



売り手

飼育経験
育て方

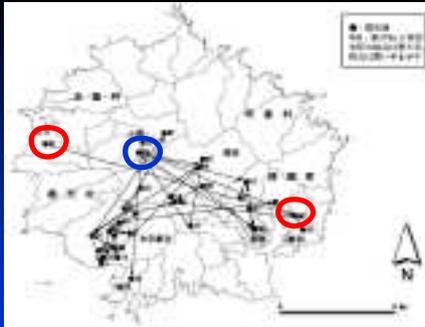


牛の個性
牛主の思い入れ

牛の評価→牛主の評価

12

牛縁(うしえん)の成立



しょうま



付き合いの
きっかけ

牛をよりどころに関係ができる

13

6. 闘牛大会を媒介とした関係

- ① 飼育者: 町村名or集落名, 屋号 【取組表】
- ② 称号: 牛の名前

【牛の正式名】

- ・屋号, 家業 などと関連
- ・2代, 3代で使うことも

正式名で出すと
牛主の家が判明

【牛の貸し借り制度】

誰でも借りられる

牛の世話が
できなくても可能

祝儀&宴会は全て
借りた人(団体)が担当

牛主←救済措置

相撲

18



「若虎会」祝儀の件数¹⁵

グループで出場させる

複数の牛主+支援者

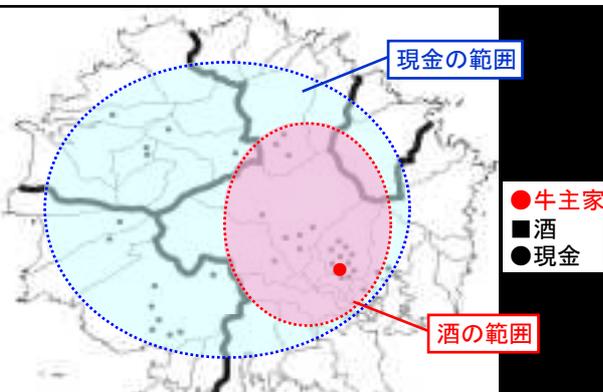
飼育の情報交換, 継続的な関係



職業
居住地
年齢 } さまざま

牛の飼い方
→ 価値観を共通

16



闘牛を出した家に祝儀を贈った家

17

近隣の住民との関係

祝儀へのお返し...宴会, 大会での昼食提供
勝敗の予想, 作戦会議...親睦深まる, 顔広まる

闘牛縁の成立

女性のサポート
が不可欠!

連続で出場は困難
40頭中20頭が名前変更
(2003年)



7. 宇和島との交流

1回勝負を付けるとすべての牛を肉に落とす

↓

1965年：隠岐と宇和島の交流大会

↓

闘牛の売買

隠岐



0~5.6歳 (青年期まで)



宇和島



7,8歳 (円熟期~)

8歳の秋を見よ！

19

全国的な交流

- 売買
- 全国闘牛サミット
- 全国大会

宇和島地方の闘牛 →

(徳之島18, 沖縄8, 宇和島7)



1~10
 11~20
 21~30
 31~40
 闘牛

闘牛を介した結びつきの特色

- **牛縁**
牛を媒介...牛主を結びつける
関係は、隠岐の広域に及ぶ
- **闘牛縁**
闘牛大会を媒介...牛主、住民、家族の関係強化
地縁との結びつきが強い

従来からある血縁や地縁と共存しながら
独特の価値観で人々を結びつける

21

今後の課題

【牛縁, 闘牛縁の特色】
→いかに従来の関係(血縁, 地縁)と異なるか？

【グループのできかた】
他の事項を通してできたグループの違い

- ・民謡
- ・相撲

22

発表は以上です。
聴いて下さって
どうもありがとうございました。



牛

23